

滝川市都市計画審議会 議事概要

令和4年度 第2回 滝川市都市計画審議会 議事概要

日 時	令和5年2月22日（水曜日）午後1時30分～午後2時30分
開催場所	滝川市役所 5階 庁議室
出席者	岡部豊会長、田端千裕副会長、木幡孝雄委員、松田圭右委員、 荒木文一委員、木下八重子委員、東元勝己委員、中井勇人委員 事務局等：前田康吉市長、尾崎敦建設部長、加地幸治建設部次長、 遠藤友樹弘都市計画課長補佐、花田万敬都市整備係長 中山太陽主任主事、小諸将司主任級主事
議 事	1 開 会 2 委嘱状交付 ・新委員1名に対して委嘱状の交付を行った。 3 市長挨拶 ・本日の諮問事項1件について、宜しくお願ひしたい旨の挨拶があった。 4 会長挨拶 ・令和4年度第1回の審議会において、計画の概略及び策定経過、素案の概要について報告があった。本日は事務局より原案について説明いただき、令和5年3月末の策定・公表に向けて決定していきたいため、宜しくお願ひしたい旨の挨拶があった。 5 議事 ・事務局長より本日は委員10名中8名の出席により審議会が成立したことを報告した。 ・市長より会長へ諮問書の受け渡しを行った。 ※受け渡し後、市長は他の公務のため退席。 ・会長が議長となり議事の進行を行った。 諮問第1号 滝川市立地適正化計画の策定について

事務局)

- ・配布資料に基づき、滝川市立地適正化計画の策定について内容説明を行った。

会長)

- ・諮問第1号の説明が終わった。
- ・何か質疑・意見等はないか。

委員)

- ・江部乙地域、東滝川地域に居住誘導区域を設定をしないとのことだが、今後の公営住宅についてどう考えているのか。
- ・将来的な人口密度20人/ha以上のイメージが湧かない。
- ・全国的なものだが、2050年には3戸に1戸が空き家になるという推計がある。現状、滝川市として建て替えやリフォームに対しては補助しているが、今後は解体に対しても補助していくべきではないか。

事務局)

- ・強制的ではなく、あくまで緩やかに誘導する考えであり、江部乙地域、東滝川地域における公営住宅の今後の在り方については、例えば現状100戸あったところを空き家の状況等の需要状況を見ながら50戸にするなどし、機能を維持していく考えである。
- ・本編のP11上段に平成27年と令和27年（予測）の人口密度が記載されている。令和27年（予測）を見ると段々と密度が薄くなっている。これをそのまま放っておくと、様々な悪影響が懸念されるので、生活利便施設の誘導方針と区域を明確にするとともに、ある程度の人口密度を保ち、生活関連機能を維持確保していく区域を今から示すことで、このエリアに住んでほしいという方針を示している。また、目標値として平成27年の用途地域の人口密度24.3人/haを設定しているが、この密度があれば一定程度、生活利便機能が維持できるものと考えている。
- ・現在、都市計画マスタープランの見直しも並行的に行っている。その中で新築、改築の支援だけではなく、解体支援についても検討していきたい。

会長)

- ・ほかに意見等はないか。

委員)

- ・なし

	<p>会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なければ諮問第1号滝川市立地適正化計画の策定について「可」として答申し、答申書の作成については事務局と協議するので、会長に一任することよろしいか。 <p>委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異議なし <p>会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上で、今回の議事が終わった。 ・長時間の審議に感謝申し上げる。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>7 閉会</p>
<p>報告資料</p>	<p>諮問第1号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝川市立地適正化計画の策定について